

臺灣西工新聞 Break Through

2020. 9. 7(月)
R2-006号
兵庫県立西脇工業高等学校
田中希実日本新記録樹立記念号

1500m 3000m 日本新記録 ☆おめでとう☆

西脇工業高校第55回生（2017年度卒）の田中希実さんが、2020年7月8日、ホクレンディスタンスチャレンジ2020で3,000m8分41秒35の日本新記録を、そして8月23日、東京国立競技場で行われたセイコー・ゴールデングランプリ東京で1,500m4分05秒27の2つ目の日本新記録を樹立しました。また、5,000mにおいても日本歴代2位の記録を出しておらず、さらなる活躍を楽しみにしています。



写真提供: EKIDEN News さん

現在は同志社大学スポーツ健康科学部に在籍しながら、陸上競技は豊田自動織機TCで活動されています。高校時代も、全国高校駅伝をはじめ、世界大会にも出場し、数々の記録をだしていましたが、学業も力を抜くことはありませんでした。学校行事や授業、すべてのことに全力で取り組む姿がとても印象的でした。

高校時代の希実さん
右は現在でもチーム
メイトの後藤夢さん



今！西脇があつい！

8月30日西脇市は39.2度を記録し、
全国で1番あつい地点でした。

田中 希実
(2017年度卒生)



写真提供: EKIDEN News さん

希実さんより在校生へ伝えたいこととして、メッセージをいただきました。

皆さんは、何を頑張りたいと思って西脇工業に入りましたか？また、今は何を頑張っていますか？

私は、中学3年生の時、願書提出ギリギリまで近くの進学校と西脇工業で迷っていました。最終的に西脇工業を選びましたが、だからこそ、進学校を選んでいた場合の自分に恥じないよう、陸上だけでなく勉強も絶対に頑張ろうと決心しました。数々の資格をしっかり取ることはもちろんですが、全ての授業を大切にしました。印象深いものでは、チーム戦で楽しく取り組んだ漢字テストや、最後の年に一年かけて試行錯誤した課題研究です。陸上の実力や考え方も成長させて頂き、今では西脇工業を選んで本当に良かったと思っています。

皆さんも、これから沢山の選択をして行くことになりますが、選択した時点では、その選択がよかったかどうかわかりません。だからこそ、その選択がよかったと思えるものに自ら変えて行かなければなりません。しんどいことですし、自らが自らに課すものですので、逃げるのは簡単です。だからこそ、逃げずに、西脇工業を選んだときの初心を忘れないでください。

部活を頑張りたいと思って入った人も、学校生活全体に全力で臨んでほしいです。しんどいことを楽しむのが青春です。私もまだまだだと思いますので、皆さんに言葉だけでなく行動で伝えられる人物になれるよう頑張ります。

